

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ (呼吸器外科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2023年1月1日～2023年12月31日の期間に当院にて肺全摘術・肺葉切除・肺区域切除・肺部分切除が必要と診断され、治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	喫煙患者の肺癌における摂取タール量と肺癌悪性度、背景肺との関連の検証			
③ 実施予定期間	2023年12月～2025年3月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	三村 剛史	所属	呼吸器外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	三村 剛史	所属	呼吸器外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、喫煙歴、最も喫煙歴の長いタバコの銘柄とそのタール含有量、アスベスト曝露歴、呼吸機能検査、腫瘍局在、併存症、手術術式、合併症、在院日数、摘出した腫瘍の病理所見など ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究事務局および当院の研究担当者両方において保管されます。 ※当院の研究担当者が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	喫煙は肺癌や肺気腫の最大のリスク因子であり、喫煙本数に喫煙年数をかけあわせたBrinkman指数(Brinkman Index; BI)が喫煙量の指標として広く用いられています。タバコの銘柄により含有されているタール量は様々ですが、BIにはその量は反映されておらず、タール量と肺癌、やそれに併存肺気腫、間質性肺炎などとの関連について述べた報告は現時点ではほとんどなく、その関連性を明らかにすることで、肺癌の悪性度に影響する新たなリスク因子の指標となる可能性があります。			
⑨ 方法	国立病院機構呉医療センター呼吸器外科で、肺全摘術、肺葉切除、肺区域切除、あるいは肺部分切除の適応となる患者を対象とします。患者さんの術前・術中・術後のデータを収集し、主に術前CTで評価した肺気腫や間質性肺炎の有無、最終病理検査にて判明した腫瘍の病理所見との関連を検討します。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年12月12日		
	院長承認日	2023年12月12日		
⑪ 公表	個人情報保護のうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	三村 剛史	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科			

呉医療センター・中国がんセンター院長